

レンジ上部には、吊り戸棚を設置するようになるのは時間の問題である。

我が国におけるシステムキッチンにだんだん主婦だけの場所から家族のスペースに、雰囲気づくりに気をつかったシステムキッチンが置まれる様になりつゝ、あらのが、現状である。

次いで図によつてその作用と効果とを説明する。

本発明のものはレンジ (13) の壁面部に内蔵せるものであつて、従来のレンジフードの様にレンジ (13) の上部に大きく場所を取る事なく、上部を広くあける事を可能とするものである。

本発明の排気装置 (1) を使用する場合、電源スイッチ (11) をプッシュすればパイロットランプ (12) が点灯し、装置 (1) の電源が入る。

ファン (3) が回転し、レンジ (13) で発生する油煙等を吸引し、フィルター (2) を通り、ダクト (4) により清浄脱臭液 (5) 内に入り、こを通過時に汚れた空気が清浄脱臭される。

クリーンになつた空気は金網 (6) を通り、排出孔 (7) より屋外又は室内に送り出されるものである。

使用後電源スイッチ (11) を再度プッシュすれば装置 (1) の電源が切れる。

この清浄脱臭液 (5) の汚れの程度を知る目的で、レンジ (13) の全面に吸き窓 (8) を設け、清浄脱臭液 (5) の交換時期をしる。

清浄脱臭液 (5) を交換する時は、排水孔 (9) より汚れた清浄脱臭液 (5) を排水した後、新しい液 (5) を給水孔 (10) より入れる。

このようにレンジ (13) の上部を広くあける事を可能とし、又レンジ (13) で発生する油煙をクリーンにして、送り出せるようになる。レンジ用排気装置である。

4. 図面の簡単な説明

図は本発明の実施の一例を示すもので、第1図は装置の断面図、第2図は使用中を示す図である。

(1) はレンジ用排気器、(2) はフィルター、(3) はファン、(4) はダクト、(5) は清浄脱臭液、(6) は金網、(7) は排気孔、(8) は吸き窓、(9) は排水孔、(10) は給水孔、(11) は電源スイッチ、(12) はパイロットランプ、(13) はレンジ。

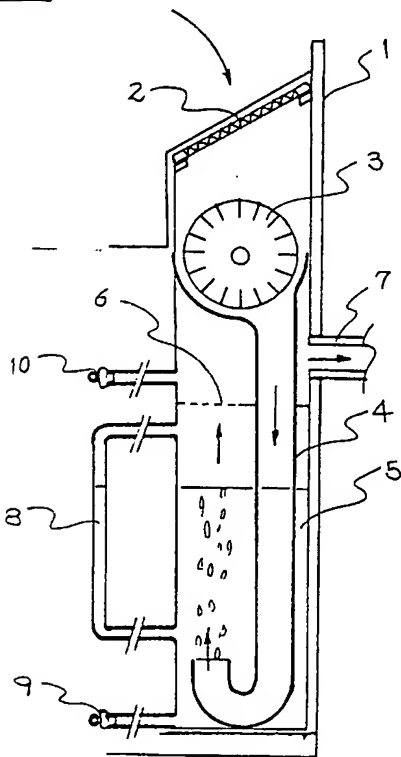
特許出願人

フクバデンタル株式会社

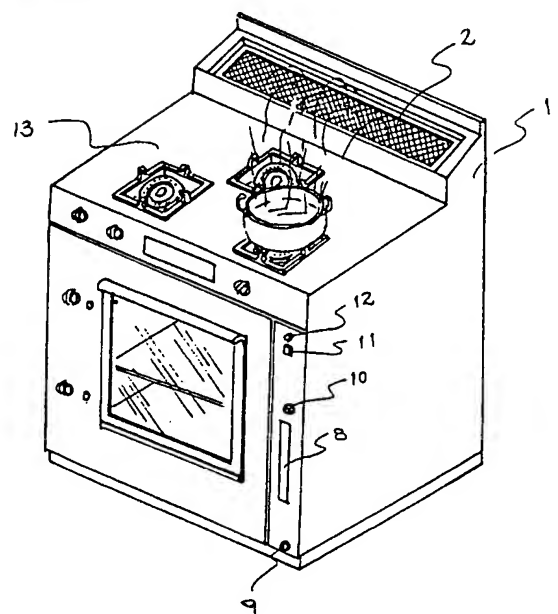
代表取締役 堀 場 博



第1図



第2図



⑫ 公開特許公報(A)

昭63-150529

⑤Int.Cl.⁴
F 24 C 15/20識別記号 庁内整理番号
B-6909-3L

⑬公開 昭和63年(1988)6月23日

審査請求 未請求 発明の数 3 (全2頁)

⑭発明の名称 レンジ用排気装置

⑮特 願 昭61-297528

⑯出 願 昭61(1986)12月16日

⑰発 明 者 福 場 博 千葉県流山市名都借491-1

⑱出 願 人 フクバデンタル株式会 千葉県流山市名都借914-1
社

明 細 書

1. 発明の名称

レンジ用排気装置

2. 特許請求の範囲

1) レンジ(13)の壁面部に内蔵せる清浄装置(1)のフィルター(2)を通り、ファン(3)により吸引されたレンジ(13)よりの油煙を、ダクト(4)により清浄脱臭液(5)内に放出し、清浄脱臭された空気を金網(6)を通り、排出孔(7)より屋外又は室内に送り出すようにしたる、レンジ(13)の壁面部に内蔵せるレンジ用排気装置。

2) 清浄脱臭液(5)の汚れの程度を手軽に見る事の出来る、覗き窓(8)をレンジ(13)の前面に有する、特許請求の範囲第1項に記載のレンジ用排気装置。

3) 清浄脱臭液(5)を交換する目的の、排水孔(9)と給水孔(10)をレンジ(13)の前面に設けた、特許請求の範囲第1項に記載のレンジ用排気装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明のものは清浄装置を有するレンジ用排気装置に関するものである。

我が国では吸排台所にステンレス流し台が使用されるようになり、これがキッチン革命の主流であった。

昭和48年には西ドイツからシステムキッチンが日本に輸入され、同50年には我が国でも本格的に普及するようになった。

高度成長に伴いだんだん生活様式のみでなく、住宅事情に適した台所づくりが進み、何よりもキッチンルームに幅のある空間づくりを促したのはインテリア志向の家具調システムキッチンである。

この様にシステムは進んできても日本ではレンジフードの空気はそのまゝ、外に出して放し、隣の家のおかずの内容がわかるというひどい状態である。

これに対して我が国にシステムキッチンを持込んだ西ドイツでは、住宅街ではレンジフードの空気をそのまゝ、外に出すことは禁止されており、フィルターで空気をろ過し、再び室内に戻すリサイクル方式を採用している。

我が国にあつてもビル内の集中排気用ダクトに排気する場合には、レンジフードの空気をそのまゝ、排気する事はゆるされない。

我が国では現在の所システムのみ輸入され、それを使用するマナーがおろそかになつてゐるが、我が国でもこの様な西ドイツのマナーは、土地が無く住宅が密集する日本では当然必要なマナーといわねばならない。

又日本では狭いキッチンが主婦の共通の悩みであり、今までのような場所を取るレンジフードは無くなり、レンジの左右両側面又は壁面に排気装置を有するタイプとなり、今までレンジフードの有つたレ

PAT-NO: JP363150529A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63150529 A
TITLE: EXHAUST DEVICE FOR RANGE

PUBN-DATE: June 23, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUKUBA, HIROSHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUKUBA DENTARU KK	N/A

APPL-NO: JP61297528

APPL-DATE: December 16, 1986

INT-CL (IPC): F24 C 015/20

US-CL-CURRENT: 126/299F

ABSTRACT:

PURPOSE: To widely open the upper part of a range and to clean generated oily smoke to discharge it out, by a method wherein on exhaust device having a cleaning device is incorporated in the wall surface part of the range.

CONSTITUTION: A blower device 1 for a range is incorporated in the wall surface part of a range. With a source switch depressed, a pilot lamp is lighted ON, and the power source of the device 1 is switched ON. A fan 3 is run to suck oily smoke generated in the range. The soot passes a filter 2 and enters a cleaning deodorating solution 5 through a duct 4, and by its passage through the solution, contaminated air is cleaned and deodorated. The cleaned air passes a wire net 6, and is delivered through an exhaust hole 7 to the outside of a building or the interior of a room. With the source switch depressed again after the use, the power source of the device 1 is switched OFF. A visual window 8 is formed in a front to detect the replacing timing of the cleaning deodorating solution 5.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio